



RULES FOR THE FIS SKI JUMPING WORLD CUP (MEN)

ワールドカップルール(男子)

EDITION 2025 / 2026



FIS スキージャンプワールドカップ男子ルール 2025/2026

凡例 : WCJ-M = FIS ワールドカップスキージャンプ男子 (スキーフライングを含む)
COCJ-M = FIS コンチネンタルカップスキージャンプ男子
GPJ-M = FIS グランプリスキージャンプ男子

1. **大会地のカレンダー計画、エントリー、指名**
 - 1.1 **FIS ワールドカップスキージャンプ**
 - 1.1.1 各国スキー連盟は、決められた期限内にカレンダー計画小委員 (Sub-Committee for Calendar Planning) へ WCJ 大会 (個人戦及び団体戦) の申請をする権利を有する。
 - 1.1.2 大会の申請は、大会の 2 年前に公式の FIS エントリー用紙で行なわれなければならない。大会の申請書には、ジャンプ台公認証の有効期限が含まれていなければならない。
 - 1.1.3 複数の大会が異なる場所で行なわれる場合、大会の期日の間に最低でも 1 日の練習がとれるように日程が設定されなければならない。
 - 1.1.4 各シーズン最後の WCJ 大会が WCJ ファイナルである。
WCJ ファイナルと関連して、WCJ 総合の表彰式が行なわれる。
 - 1.1.5 **カレンダー計画及び調整**
FIS ジャンプ委員会委員長、FIS カレンダー計画小委員会委員長、FIS スキージャンプレースディレクターは協力して、ワールドカップ開催の可能性を最大限にするためにワールドカップカレンダー及びテクニカルルールの調整を認められる。
 - 1.1.6 ワールドカップ競技会は雪上で開催されるものとする。ただし、例外的な場合、着地エリアにプラスティック面を使用したアイス/スノートラック (氷雪走路) で大会を開催することも出来る。
- 1.2 **WCJ 大会地の指名**
 - 1.2.1 カレンダー計画小委員会は以下を検討する。
 - 有効なジャンプ台公認証を有し、ワールドカップ大会として当該ジャンプ台が適しているか。
 - 全競技時間を通じライブ放送に適した国際テレビ信号の提供を保証することを含めた選考基準により、WCJ 大会として当該組織委員会が適しているか。
- NSA からの COC イベントへの申請数は WCJ 申請数と同数であるべきである。
 - 1.2.2 この評価結果と提案日程により、カレンダー計画小委員会は今後 5 年間の暫定ワールドカップスケジュールを作る。各シーズンの最終的な WCJ カレンダーは、FIS 理事会の承認を要する。

1.2.3 スノーデポジット（雪の貯蔵）

第3 ピリオド（11月及び12月）の大会オーガナイザーは、雪不足や高温の場合ジャンプ台の整備を保証できる十分な量の雪の貯蔵を確保することを FIS は強く推奨する。

1.3 日程の保護

1.3.1 同日に、WCJ 1 大会のみ開催出来る。

1.3.2 國際選手権（オリンピックと世界選手権）は、それぞれ当該大会の日程として保護される。すなわち、それらの日程ではワールドカップは開催されない。

1.4 中止

開催予定地が使用できない場合、当該各国スキー連盟は大会を中止すると共に、中止は競技会の遅くとも 8 日前までに行わなければならない。

1.5 ワックスキャビン

組織委員会は、使用者に対し如何なる追加費用が発生することなく、ワックス掛けや準備用のキャビンを提供する義務がある。

ワックスキャビンには、暖房、電源、インターネット回線、適切なワックス掛け用テーブル、ハンガー、スキー用ラックがなければならない。

1.6 チームホスピタリティー

組織委員会は、競技会場に選手、コーチ、サービススタッフ向けに適切なチームホスピタリティーを提供する義務がある。チームホスピタリティーエリアは、安全で快適な環境の下、チームメンバーが準備及び・又はリラックスできる十分は広さであること。エリアには、十分な椅子や暖房が設置され、ヘルシーで、暖かい食べ物、冷たい食べ物、飲み物が用意され、近くに専用の適切なトイレがあること。

2. WCJ 大会参加権利

2.1 FIS コード所有選手のみエントリーが認められる。

2.2 参加が認められる選手

2.2.1 ワールドカップスキージャンプ及びスキーフライング 個人戦

- a) 2010 年又はそれ以前に生まれた選手（WC スキーフライング大会の場合、選手は各競技会の最初の公式練習日に 18 歳以上でなければならない）及び
- b) 既に GP 又は WCJ ポイントをもっている選手
- c) 昨シーズン又は現シーズン、COCJ-M ポイントを最低 1 点でも獲得した選手。

2.2.2 ワールドカップスキージャンプ及びスキーフライング 団体戦

2.2.2.1 ワールドカップスキージャンプ団体戦

チームにつき 4 選手、ただし、

- a) チームにつき最低 3 選手が既に GP 又は WCJ ポイントをもっている、又は昨シーズン又は現シーズン、COCJ-M ポイントを最低 1 点でも獲得している。
- b) チームにつき最大 1 選手が、昨シーズン又は現シーズン、FIS カップ-M ポイ

ントを最低 1 点でも獲得している。

2. 2. 2. 2 **スキーフライング団体戦**

チームにつき 4 選手、ただし、

- a) 全選手が既に GP 又は WCJ ポイントをもっている、又は
昨シーズン又は現シーズン、COCJ-M ポイントを最低 1 点でも獲得している。
- b) 全選手、各競技会の最初の公式練習日に 18 歳以上でなければならない。

2. 2. 2. 3 **スーパーチーム戦**

チームにつき 2 選手、ただし、選手の内最低 1 名は既に GP 又は WCJ ポイントをもっている、又は昨シーズン又は現シーズン COCJ-M ポイントを最低 1 点でも獲得している。

競技会は、混合スーパーチーム戦としても開催でき、性別につき 1 選手とする。

3. WCJ 評価（点数配分）

3.1 個人戦

1 位 = 100 点	16 位 = 15 点
2 位 = 80 点	17 位 = 14 点
3 位 = 60 点	18 位 = 13 点
4 位 = 50 点	19 位 = 12 点
5 位 = 45 点	20 位 = 11 点
6 位 = 40 点	21 位 = 10 点
7 位 = 36 点	22 位 = 9 点
8 位 = 32 点	23 位 = 8 点
9 位 = 29 点	24 位 = 7 点
10 位 = 26 点	25 位 = 6 点
11 位 = 24 点	26 位 = 5 点
12 位 = 22 点	27 位 = 4 点
13 位 = 20 点	28 位 = 3 点
14 位 = 18 点	29 位 = 2 点
15 位 = 16 点	30 位 = 1 点

3. 1. 1 同得点者が複数の場合、各選手にはその順位に応じるポイントが与えられる。
(次の順位は省略される。)

3. 1. 2 WCJ 評価（ポイント対象）の大会とみなされる為には、最低 8 カ国が参加しなければならない。

3. 1. 3 ワールドカップスタンディング

現シーズンの全ての個人戦の WCJ ポイントが、WCJ 総合優勝者を決めるにあたり合計される。

最終評価で複数が同得点であれば、個人優勝回数の多さや、各 WC 大会の次に良いランクに準じ順位が決まる。それでも同順位であれば、スタート順は抽選となる。

3. 1. 4 その時点での WCJ 総合評価首位の選手（リーダー）には “ワールドカップリー

ダービブ”を与える。その選手は、そのゼッケンをもらうことが出来る。首位の選手は、ワールドカップリーダーダービブを大会中、公式表彰式、及び公式練習に着用しなければならない。

3.2 団体戦及び混合チーム戦

1 位=400 点	5 位=200 点
2 位=350 点	6 位=150 点
3 位=300 点	7 位=100 点
4 位=250 点	8 位= 50 点

3.2.1 同得点チームが複数の場合、各チームには、その順位に応じるポイントが与えられる。次の順位は省略される。

3.2.2 WCJ ネーションズカップ（ポイント対象）の大会とみなされる為には、最低 8 カ国が参加しなければならない。

3.2.2.1 2.2.2 条に準じ選手 4 名をエントリーし大会会場に姿をみせたチームのみ、当該団体戦、又は、混合団体戦に参加することが出来る。

3.2.3 団体戦のスタート順

スタート順は、現在のワールドカップネーションズスタンディングの逆順に基づく。混合チーム戦のスタート順は、現在のワールドカップネーションズスタンディング男女合計の逆順に基づく。組織的理由により、同日に行われた個人戦の結果は団体戦のスタート順に考慮されない。

3.2.3.1 2 本目には、1 本目の上位 8 カ国のみ参加する権利を有する。最終ラウンドの各グループのスタート前に、インフォブレークを入れ、次のグループのスタート順をその時点の順位の逆順に並べ替える。

3.2.4 スーパーチーム戦

スーパーチーム戦のスタート順

スタート順は、以下の通りに決める。

- グループ 1 ドロー（現シーズンポイントを獲得していない NSA）
- グループ 2 現在の WC ネーションズスタンディングの逆順。

組織的理由により、同日に行われた個人戦の結果はスタート順に考慮されない。各チーム選手 2 名から成り、2 名は異なるグループに入る。

各 NSA は、大会に 1 チームエントリーする権利を有する。

大会は 3 ラウンドから成る。1 本目、エントリーした全チームが、グループごとに参加する権利を有する。1 本目のあと、上位 12 チームのみ 2 本目に進める。1 本目と 2 本目のブレークは 10 分間とする。2 本目のスタート順もグループに基づく（まず、グループ 1 の選手全員、続いてグループ 2 の選手）。2 本目のあと、上位 8 チームのみ最終ラウンドに進める。2 本目と 3 本目のブレークは最低 10 分間とする。最終ラウンドは、両グループとも現順位の逆順に並べ替える。

ランキングは、各チームの選手の全てのジャンプのスコアを加算し決める。
団体戦の 13 日前までにエントリー数が 8 カ国に満たない場合、FIS は競技形式をスーパーチーム形式に調整する権利を有する。
大会の 10 日前までに、大会へのエントリー選手数が 2 名未満の NSA は、エントリーを調整し、当該スーパーチーム形式に選手 1 名を追加できる。
ノルディックスキー世界選手権及びスキーフライング世界選手権では当該ルールの期限が尊重されなければならない。

3.2.4.1 スーパーチーム戦

1 位=200 点	7 位=60 点
2 位=160 点	8 位=50 点
3 位=120 点	9 位=40 点
4 位=100 点	10 位=30 点
5 位=80 点	11 位=20 点
6 位=70 点	12 位=10 点

3.2.5 WCJ ネーションカップ

団体戦及び混合チーム戦シェア分のポイントを含め、現シーズンの全 WCJ 大会（男子）における 1 カ国より選手全員のポイントの合計点数が国別の得点（WCJ 評価）として考慮される。

国別得点で同得点がある場合、各々の大会（個人戦及び団体戦）の良い成績が優先する。

4. ワールドカップ競技会

4.1 各国の参加人数

参加人数は、ピリオド別に以下に従い計算される。

- ワールドランキングリスト（第 4.1.1 条参照）
- 現在のコンチネンタルカップ男子ピリオドのスタンディング
- JWSC の個人戦の結果（上位 3 選手のみ）

計算の基本は以下の通りである。

- ワールドランキングリストに基づくワールドカップアロケーションリスト（4.1.2 条参照）の上位 45 選手（1 カ国最大 5 名）
- コンチネンタルカップ男子ピリオド上位 3 名
- JWSC の個人戦の上位 3 選手（1 カ国最大 1 クオータ、国別、指名ではない）、クオータは JWSC 後のピリオド全体から次の JWSC 前週まで有効、各 NSA は JWSC の年齢基準を満たす別の選手を当該クオータに使用することが認められる。
- しかしながら、1 カ国のクオータは最高 7 選手に制限する。
- (ランキングリストによる) ネーションクオータとは別に、昨年又は現シーズン中に個人又は団体戦で最低 1 点でも獲得したことがある国は、選手 2 名の基本クオータをもつ。

4.1.1.1 FIS ワールドランキングリスト

クオータの計算は、以下の基準に従って作られるワールドランキングリストを

基に行われる。

- ポイントシステムは、ワールドカップランキング(1位 100 点、30 位 1 点)と同じである。
- 昨シーズンのワールドカップにおける 5 つのピリオドの競技結果は、現シーズンの 5 つのピリオドの結果で徐々に代わっていく。
- この更新手順が各ピリオド終了後に繰り返し行なわれ、最近の 5 つのピリオドがワールドランキングリストの計算に使用される。
- さらに、サマーグランプリ(2 つのピリオド)の競技結果がネーションクオータの計算に加わる。
- ネーションクオータはそのピリオド内に有効であり、現在の大会結果に影響されない。

4.1.1.2 ワールドカップクオータアロケーションリスト

旅費の支払いは、以下の基準に従って作られるワールドカップアロケーションリストを基に行われる。

- ワールドカップランキングリストに基づくワールドカップクオータアロケーションリストの上位 45 選手がこのクオータに考慮される。
- コンチネンタルカップ男子ピリオドの上位 3 名

このアロケーション(配分)はワールドランキングリストのスタンディングトップから順々に下位の選手一人にクオータ 1 枠を割り当てる。ある国が最大クオータ 5 枠を獲得したら、当該国の残りの選手はカウントされず、総計 45 人に達するまでワールドランキングリストで次に資格のある選手の国に枠が配分される。最後の配分クオータ枠が複数の場合、当該順位の全ての選手が次のピリオドに含まれる。

4.1.2 ピリオドの区分け

第 1 ピリオド:	2025.08.09	–	2025.09.21	ク・シュベル～バルティフィエ
第 2 ピリオド:	2025.10.18	–	2025.10.26	ヒンツエンバッハ～クリゲンタール
第 3 ピリオド:	2025.11.21	–	2025.12.21	リレハンメル～エンゲルベルグ
第 4 ピリオド:	2025.12.29	–	2026.01.06	オーベルストドルフ～ビショフホーヘン
第 5 ピリオド:	2026.01.10	–	2026.01.18	ザコパネ～札幌
第 6 ピリオド:	2026.01.30	–	2026.03.01	ヴィンゲン～クルム/B.ミッテルンドルフ
第 7 ピリオド:	2026.03.07	–	2026.03.29	ラハティ～ブランツツア

4.1.3 公式練習の参加枠(スタートクオータ)

各スキー連盟は、ネーションクオータに沿った選手数をエントリーする権利を有する。但し、合計 7 名を超えてはならない。

クオータが 1 又は 2 の国は、選手 2 名まで追加してエントリーすることを認め

る。クオータが 3 の国は、選手 1 名を追加してエントリーすることを認める。クオータが一つもない国又は基本クオータの国（4.1 条参照）は、最大選手 2 名までエントリーすることを認める。ホスト国は、公式練習及び予選にナショナルグループ（グループ 1）を最大 4 名まで加えてエントリーする権利を有する。

しかしながら、大会プログラムに団体戦が含まれる場合、個人戦に最大選手 4 名までエントリーすることを認める。

ホスト国の大参加クオータは、公式練習及び予選において 11 名であるが、その他の国は最大 7 名とする。

WCJ 大会が 1 カ国で 2 試合を越える場合、ホスト国は、最大 2 試合にのみナショナルグループをエントリーする権利を有する（WCJ 大会のみ適用）。

サマーグランプリにおいては 1 試合に減らす。この制限は、他国からの代替大会には適用されない。

4.1.4 大会（本戦）スタートクオータ

予選ラウンドで参加選手を 50 名に減らす。スキーフライング大会では 40 名に減らす。

4.1.5 トゥービート及びグリーンレーザーライン

男子 WCJ 大会（個人、団体、予選、プロローグ）では、公式データサービスプロバイダーの”トゥービート及びグリーンレーザーライン”の使用を義務とする。

4.1.6 スタートタイムコントロール

WCJ 男子のスタート方法における黄色信号の間隔は、10 秒から 60 秒まで可能である。

4.1.7 トランスポンダー及びモーションセンサー

ライブで届きデータが記録されるトランスポンダー及びモーションセンサーが、公式データ及びスコアリングプロバイダーにより提供され、FIS に承認される。

これらは、いくつかの大会の公式練習、競技会において選手によりビンディングの前部分に装着されなければならない。トランスポンダー及びモニターセンサーは、選手のスピードやポジショニングなど外部データを届ける。

このサービスは、公式タイミング及びデータプロバイダーにより提供され、発生したデータは無料で各 NSA 及び FIS に提供されなければならない。

4.2 競技方法とスタート順

4.2.1 ワールドカップ競技会

原則として、ジャンプ大会は以下から成る。

- 公式練習
- 予選及び／又は
- 試技
- 2 ラウンド

4.2.1.1 公式練習、予選、1 本目では、選手を 3 つのグループに分ける。

グループの順序は以下の通りである。

- グループ 1 開催国
- グループ 2 (WCJ ポイントがない選手)
- グループ 3 (WCJ ポイントをもつ選手)

4.2.1.2 グループ内のスタート順は、以下の通りに決める。

- グループ 1 開催国によるドロー又はシード
- グループ 2 ドロー
- グループ 3 現在の WCJ ランキングの逆順。シーズン最初の WCJ 大会は、昨シーズン最終 WCJ ラインキングが決め手となる。
スキーフライングの場合、フライング WC 第 2 戦目からは、現在のフライング WC スタンディングが決め手となる。
選手は、ワールドカップスタンディングに入れば直ちに、そのランキングに従ってグループ 3 にシードされる。

シードグループ 1 及び 2 が揃った後、ジュリーは公式練習前にこれをドローすることが出来る。チームキャプテンは、このドローを次回のチームキャプテン会議で確認しなければならない。

同じジャンプ台で行なわれる 2 つの試合において、公式練習が 1 回しか出来ない場合（個人及び団体戦又は個人戦 2 戰）、一方もしくは両方の大会に参加するとしても、どちらか 1 試合分のクオータしか参加出来ない。

競技スケジュールは、大会の招待状といっしょに発表されなければならない。不可抗力の場合、ジュリーによって変更が可能である。

4.2.1.3 予選

4.2.1.3.1 予選 スキージャンプ

予選ラウンドで参加者数を 50 人まで減らす。全ての選手が、予選に参加しなければならない。結果は、総合点数で計算される。

最長不倒の 95% に達し予選通過すべきところ転倒した選手は、50 人に加えて大会に参加する権利を持つ（ウインド/ゲート補正が使用される場合、補正された距離が基本となる）。参加選手数が 50 人以下の場合、プロローグ競技ラウンドを開催しなければならない。

4.2.1.3.2 予選 スキーフライング

予選ラウンドで参加者数を 40 人まで減らす。全ての選手が、予選に参加しなければならない。結果は、総合点数で計算される。

ホスト国が上記 40 人内に 4 選手未満またはそれを超える場合 1 本目に 4 人まで追加してエントリーする権利を有する。

最長不倒の 95% に達し予選通過すべきところ転倒した選手は、40 人に加えて大会に参加する権利を持つ（ウインド/ゲート補正が使用される場合、補正された距離が基本となる）。

4.2.1.3.3 予選不通過選手

予選不通過選手を、同週末の大会/イベント/開催地で予定されるシリーズの別の個人戦のフォージャンパーとして指名することは出来ない。ただし、例外的な場合においてジュリーは予選不通過選手をフォージャンパーに指名することが認められる。

4.2.1.4 特別な場合（例：限られた練習、インランの変更、時間不足、悪天候）、ジュリーは予選又は試技の決定をすることが出来る。

4.2.1.6 試技

予選を全く行なわない場合又は大会当日に行なわない場合、試技を 1 本目の前に行なわなければならない。（例外：ICR452.2.2 参照）

4.2.1.7 1 本目には 50 人（スキーフライングは 40 人）のみ進める。予選ラウンドで最後に予選通過した順位が複数の場合、その同点者全員が本選に進める。合計人数を 50 人（フライングは 40 人）まで満たす。（プラス最終予選通過順位同点者全員又は / 及び最長不倒の 95% に達したが転倒した選手。第 4.2.1.3 条に従う）

4.2.1.8 2 本目（最終ラウンド）には、1 本目の上位 30 人のみが進める（プラス最終予選通過順位同点者全員）。ゼッケンは替えず、1 本目の成績の逆順でスタートする。

4.2.1.9 1 本目で最長不倒の 95% に達し通過すべきところ転倒した選手は、上位 30 人に加え 2 本目に参加出来る権利をもつ（ウインド/ゲート補正が使用される場合、補正された距離が基本となる）。

4.2.1.10 2 本目は、1 本目終了後 15 分以内で始めなければならない。時間通りにスタート出来ない選手は失格となる。

4.2.1.11 予選ラウンド終了後、ジュリーは予選不通過選手に対し、必要ならば、大会の前走者として使うことを認める権限を与えられている。

4.2.1.12 ワールドカップファイナル

ワールドカップシーズンのファイナル（NH, LH, FH）において、その場に居る現在のワールドカップ総合スタンディング上位 30 人のみが個人最終戦に参加できるが、各国の選手数はファイナル時の WC クオータに含まれる最大人數内とする。ホスト国の選手が 30 人以内に 4 人未満ならば、4 人までエントリーを追加できる権利を有する。

スタート順は、ファイナル大会前の個人総合 WC ランキングに従う。

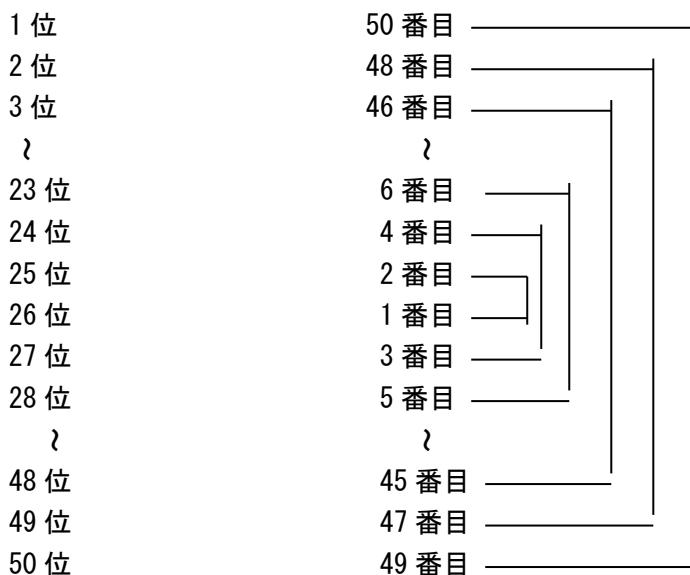
4.2.2 KO システム

ジャンプ委員会は、予選及び競技ラウンドに関する上記のルールを修正する権利を有する。

新しい方法に対し FIS ジャンプ委員会による決定と FIS 理事会の承認により、1 本目の参加者数は、ペアで（二人ずつ）競うことにより（KO システム）、最終ラウンドを半分の 25 人に減らす。合計点数でトップより上位 5 人（ベストルーザー）を加え、合計 30 名まで満たす。

- 4.2.2.1 予選ラウンドは今迄と同じ方法で行なわれるが、1つ例外があり、合計点数によって予選 通過確定のみならずスタート順も決まる。予選ラウンドは、一日前に行なうこととする。
- 4.2.2.2 1本目において 25 組が競うので、予選ラウンドでは、きっかり 50 人を選出しなければならない。
そのため、最下位が同点で複数の場合、又は最長不倒に達したが転倒のため合計点数が低くすぎた場合、50 人より増やすことは不可能である。公平さを遵守しつつ明確な決定を確実にするため、以下のルールが適用される。
- 4.2.2.2.1 二人もしくはそれ以上の選手が予選で同得点ならば、スタートナンバーの遅い選手が良いポジションにランクされる。(ICR 第 433. 4 条参照)
- 4.2.2.3 これらのルールに基づき、以下のシステムが予選ラウンドのランキングに適用される。
合計点数に基づき、まず 1 位から 50 位の通常のランキングを出す。
- 4.2.2.4 1 本目においてペアは以下のように決める。

予選ラウンドの順位 = 1 本目のスタート順位
がスタートナンバーとなる。



- 4.2.2.5 ペアは以下の順番で始める。
- | | | | |
|---------------|---|------|-------|
| スタートナンバー 26 番 | 対 | 25 番 | 1 組目 |
| 27 番 | 対 | 24 番 | 2 組目 |
| ⋮ | ⋮ | ⋮ | ⋮ |
| 49 番 | 対 | 2 番 | 24 組目 |
| 50 番 | 対 | 1 番 | 25 組目 |

- 4.2.2.6 ペアが対決した結果、対戦相手より点数の良かった選手が 2 本目に進める。

ペア同志が同じ点数ならば、スタートナンバーの低い方が次に進める。

4.2.2.7 ノックアウトシステムで残った 25 名が 2 本目にすすめる。さらに、敗北者の中から合計点数で上位 5 名（ベストルーザー）が 2 本目に加わる。例外的に勝者の数が満たない場合、ベストルーザーの数が増える。2 本目の参加人数は最終予選通過順位同点者全員又は/及び最長不倒の 95% に達したが転倒した選手（第 4.2.1.3 条に従う）により増加する（ウインド/ゲート補正が使用される場合、補正された距離が基本となる）。

4.2.2.8 2 本目のスタート順位は 1 本目の合計点数の逆順による。
同順位の場合、スタートナンバーの遅い方が先に飛ぶ。
競技の総合得点は、2 つの競技ラウンドの合計点数で決める。

4.2.3 **スキーフライング競技会**

フライングワールドカップ競技会は、ジャンプワールドカップルール及び ICR454 条に従って行なわれなければならない。

4.3 競技会に関し、ジュリーの決定について現在の適確な情報がメディア及びテレビ代表者、観客に伝わる事を保証する為、ジュリーは状況をメディア代表者及びアナウンサーに伝える義務がある。FIS レースディレクターは、その任務を担っている。

4.4 全ワールドカップ競技会において、FIS ジャンプ委員会が決めた特別規則に従い、ビデオ飛距離測定の使用を義務とする。

4.5 **サマー2025GP クーシュベル/ヴィスワ大会で試験的に行われる競技形式**

決勝ラウンドでは、1 本目の参加者数を 5 人以下のグループで比較し 20 人に減らし、合計得点が最も高かった 5 人（ベストルーザー）を加えて合計 25 人まで絞り込む。追加される 5 人は、全グループにわたり予選落ちした選手の中で上位 5 人（ラッキールーザー）。

4.5.1 選手は予選の結果に従いエントリーされ、最大 50 名が出場する。スタート順は予選の順位に基づき「スネーク・フォーマット」で決定される。
1 本目では、ジャンパーのグループが次のように編成される。
グループ 1 : 50 位、31 位、30 位、11 位、10 位の選手を含む。
グループ 2 : 49 位、32 位、29 位、12 位、9 位の選手を含む。
グループ 3 : 48 位、33 位、28 位、13 位、8 位の選手を含む。
グループ 4 : 47 位、34 位、27 位、14 位、7 位の選手を含む。
グループ 5 : 46 位、35 位、26 位、15 位、6 位の選手を含む。
グループ 6 : 45 位、36 位、25 位、16 位、5 位の選手を含む。
グループ 7 : 44 位、37 位、24 位、17 位、4 位の選手を含む。
グループ 8 : 43 位、38 位、23 位、18 位、3 位の選手を含む。
グループ 9 : 42 位、39 位、22 位、19 位、2 位の選手を含む。
グループ 10 : 41 位、40 位、21 位、20 位、1 位の選手を含む。

4.5.2 1 本目は 5 人ずつ 10 グループに分かれて行われ、合計 50 名の選手が選抜される。そのため、複数の選手が同順位で最下位または転倒により合計得点が低すぎ

るが最長距離でも、選抜数を増やすことはできない。

選手が 50 名未満の場合は、一部のグループに 5 名未満が参加する場合がある。

これらのグループも、同じ予選システムが適用される。

公平性を尊重し、明確な判定を行うため、以下の規則が遵守される：

4.5.2.1. 前回競技会で 2 名以上のジャンパーが同じ合計得点を獲得した場合、スタート番号が大きい選手が上位にランクされる (ICR 第 433.4 条参照)。

4.5.2.2 グループ内比較の結果、各グループで合計得点の高い 2 名のジャンパーが決勝ラウンドに進出する。3 名以上のジャンパーが同点の場合は、現在のワールドカップポイントが大きい選手が決勝ラウンドに進出する。

4.5.2.3 決勝ラウンドでは、1 本目の参加者数を 5 人以下のグループで比較し 20 人に減らし、合計得点が最も高かった 5 人（ベストルーザー）を加えて合計 25 人まで絞り込む。追加される 5 人は、全グループにわたり予選落ちした選手の中で上位 5 人（ラッキールーザー）。合計選手数 25 人。

例外的に勝者が少ない場合は、敗退した選手の人数が増員される。また、2 本目の参加者数は、最後の予選通過者と同点の選手、及びまたは最長飛距離の 95% (第 4.2.1.7 条) に到達したものの転倒した選手によって増員される場合もある（ウインド/ゲート補正が適用される場合は、補正された距離が基準となる）。

4.5.2.4 決勝ラウンドのスタート順は、1 本目の合計得点の逆順で決定される。合計得点が同じ場合は、スタート番号の大きい選手が先にジャンプする。

決勝ラウンドでは、全選手が 0 ポイントからスタートする。最終順位は、それまでの成績に関わらず、決勝ラウンドでのパフォーマンスのみによって決定される。

決勝ラウンドが中止となった場合は、1 本目終了後の成績が最終成績となる。

4.5 2025 ロウエアートーナメント特別規定

最後のロウエアード大会 (2025 年 3 月 16 日、ヴィケンド) では、全選手が予選に出場できる。予選終了後、上位 30 名の選手のみがロウエアードの最終戦に出場する。

最終戦の試合形式は 3 ラウンドを含む。

1 本目 : 30 名

2 本目 : 20 名 (1 本目終了後の上位 20 名、スタートリストは 1 本目の逆順)

最終ラウンド : 10 名 (1 本目と 2 本目の両方終了後の上位 10 名、スタートリストは 2 本目後のデイリーランキングの逆順)

オスロでの最初の予選終了後、各競技 (予選および競技) のスタートリストは、現在のロウエアーランキングに基づく。

5. WCJ 賞

5.1 賞金

組織委員会は、1 競技会につき ユーロスイスフラン (EURCHF) で最低でも下記の賞金額を用意しなければならない。

個人一戦: EURCHF 100,250 100,222 86,100 上位 30 選手で以下の通りに配分：

1位	CHF 13,000	16位	CHF 1,800
2位	CHF 10,000	17位	CHF 1,700
3位	CHF 8,000	18位	CHF 1,600
4位	CHF 6,000	19位	CHF 1,500
5位	CHF 5,200	20位	CHF 1,400
6位	CHF 4,500	21位	CHF 1,300
7位	CHF 3,600	22位	CHF 1,200
8位	CHF 3,200	23位	CHF 1,100
9位	CHF 2,900	24位	CHF 1,000
10位	CHF 2,600	25位	CHF 900
11位	CHF 2,400	26位	CHF 800
12位	CHF 2,200	27位	CHF 700
13位	CHF 2,100	28位	CHF 600
14位	CHF 2,000	29位	CHF 500
15位	CHF 1,900	30位	CHF 400

順位	点数	賞金	
1	100	15,000	ユーロ
2	80	11,500	ユーロ
3	60	9,000	ユーロ
4	50	7,000	ユーロ
5	45	6,000	ユーロ
6	40	5,000	ユーロ
7	36	4,400	ユーロ
8	32	4,000	ユーロ
9	29	3,600	ユーロ
10	26	3,200	ユーロ
11	24	3,000	ユーロ
12	22	2,800	ユーロ
13	20	2,600	ユーロ
14	18	2,400	ユーロ
15	16	2,250	ユーロ
16	15	2,100	ユーロ
17	14	1,950	ユーロ
18	13	1,800	ユーロ
19	12	1,650	ユーロ
20	11	1,500	ユーロ
21	10	1,400	ユーロ
22	9	1,300	ユーロ
23	8	1,200	ユーロ
24	7	1,100	ユーロ
25	6	1,000	ユーロ
26	5	900	ユーロ
27	4	800	ユーロ
28	3	700	ユーロ
29	2	600	ユーロ
30	1	500	ユーロ

予選：

トップ選手 EUR 3,175 CHF 3,000

フライングトップ選手 EUR 5,291 CHF 5,000

団体戦及び混合チーム戦： EUR 97,800 97,778 CHF 84,000 上位 8 チームで配

分：

1位 CHF 30,000	5位 CHF 6,000
2位 CHF 19,000	6位 CHF 4,000
3位 CHF 12,000	7位 CHF 3,000
4位 CHF 8,000	8位 CHF 2,000

順位	点数	賞金	
1	400	34,000	ユーロ
2	350	24,000	ユーロ
3	300	14,000	ユーロ
4	250	9,200	ユーロ
5	200	6,000	ユーロ
6	150	4,700	ユーロ
7	100	3,500	ユーロ
8	50	2,400	ユーロ

スーパーチーム戦： EUR 97,900 97,778 CHF 84,000 上位 12 チームで配分：

1位 CHF 22,000	7位 CHF 5,000
2位 CHF 15,000	8位 CHF 4,000
3位 CHF 10,000	9位 CHF 3,000
4位 CHF 8,000	10位 CHF 2,000
5位 CHF 7,000	11位 CHF 1,500
6位 CHF 6,000	12位 CHF 1,000

順位	点数	賞金	
1	200	25,500	ユーロ
2	160	17,500	ユーロ
3	120	14,000	ユーロ
4	100	10,500	ユーロ
5	80	8,000	ユーロ
6	70	5,800	ユーロ
7	60	4,600	ユーロ
8	50	3,600	ユーロ
9	40	3,000	ユーロ
10	30	2,400	ユーロ
11	20	1,800	ユーロ
12	10	1,200	ユーロ

支払は、地元の税法を考慮しつつ、最終試合日または銀行情報の受領後から遅くとも 7 日以内に各選手の銀行口座に電子送金で行われなければならない。選手の口座の通貨への変換に関し、送金時の実際の銀行レートが適用される。

スイスフラン、ユーロ、または米ドルから選手の銀行口座の通貨への両替は、選手の銀行の日々の為替レートに基づく。為替レートが不利になった場合の補償はない。送金または通貨の両替によって発生する可能性のある銀行手数料は、補償または相殺されない。

最終試合日または銀行情報の受領から 31 日目以降、選手個人への各遅延支払に対し、一括遅延損害金として 999 スイスフランが組織委員会 (LOC) に課される。しかし、選手が提供する銀行情報の不足や間違いによる遅延は除く。また、個人の TIN (納税者番号) 等を必要とする特殊規則による遅延も除く。

NSA は FIS メンバーセクションの選手登録システムを使用し各選手の個人銀行情報を入力する責任を有する。銀行情報の LOC への提出日は、LOC が支払を済ます上記最終期限内有効とする。

各会場の最終試合日から遅くても 3 日以内に、領収書を選手へ電子的に提供しなければならない、また、そのコピーを FIS へ送る必要がある。地元の銀行に請求される銀行送金手数料やそれに適用される VAT (付加価値税) は LOC が負担しなければならない。受け手の銀行が徴収する手数料に対する税金を含む銀行手数料は選手の費用とする。銀行情報の不正確な申告によっておこる補足の費用は、支払われる金額の総額 (各賞金額) に対し LOC により請求される。

現地法が求める源泉徴収税を LOC は賞金から差し引くことが出来る。当該金額の情報は選手に送信される領収書に明記されなければならない。選手は、適用される源泉徴収/所得税の責任を有する。

LOC は、源泉徴収される税金の証明だけに限らず、試合が開催された国の賞金で税金問題をかかえる選手をアシストしなければならない。

2名以上の選手が同点となった場合の賞金分配

同点の場合は、各選手の賞金を加算し、同順位の選手間でそれぞれ分配する。

5.2 FIS ワールドカップトロフィー

- (全てのワールドカップフライング個人戦及びジャンプ個人戦を含む) ワールドカップ総合優勝者には、ビッグワールドカップトロフィーが与えられる。このトロフィーは FIS が用意する。
- (フライング大会全個人戦を含む) ワールドカップスキーフライング総合優勝者には、スマールワールドカップトロフィーが与えられる。このトロフィーは FIS が用意する。(* 訳注 フライング種目別優勝者のこと)

5.3 FIS ワールドカップメダル

- ワールドカップスキージャンプ上位 3 選手に、FIS ワールドカップメダルが与えられる。
- ワールドカップスキーフライング上位 3 選手に、FIS ワールドカップメダルが与えられる。

5.4 FIS ネーションズカップトロフィー (国別対抗)

優勝チームには、FIS ネーションズトロフィーが与えられる。

5.5 賞の用意

上記のトロフィーおよびメダルは、FIS が用意する。

5.6 プレゼンテーション

総合優勝者の表彰式は、ワールドカップファイナル (最終戦) で行なう。

6. 費用の支払い

6.1 費用負担を受けるネーションクオータ

参加国のネーションクオータは以下のように決められる。

ワールドカップアロケーションリストは、サマーグランプリ及びワールドカップジャンプ大会の結果を基に作られる（4.1条参照）。

7つのピリオドの終了度に計算し直され、このワールドランキングリストから以下が含まれる。

- ワールドカップアロケーションリスト上位 45 選手（1 力国最大 5 名）
- 現在のコンチネンタルカップ男子ピリオド上位 3 名
- JWSC の追加クオータ（4.1 条）は旅行及び宿泊の費用負担を受ける権利は有しない。
- 少なくとも 2×7 ピリオドの間選手 1 名及びコーチ 2 名（1+2）から成る基本クオータ。これは、サマーグランプリで得た得点も有効である。
- 各スキー連盟は、最大 6 名までの費用負担を受ける権利がある。
- 負担しなければならない役員の数は、下記基準に従って決まる。

役員クオータのキー：

選手 1~2 名、クオータの役員 2 名、プラス、3 食付き宿泊のみ（旅費負担なし）の役員 1 名

選手 3~4 名、役員 3 名

選手 5~6 名、役員 3 名、プラス、3 食付き宿泊のみ（旅費負担なし）の役員 1 名

6.2 以下の費用は、各スキー連盟への費用支払いに関する項目 6.1 条で決められたクオータに従って、チームに支払われなければならない。

6.2.1 宿泊

大会期間中、最初の公式練習の前日から最終競技日の翌日まで、開催地の上質のホテルで部屋と 3 食を提供する。招待状及びインフォメーションパックは、組織委員会から各スキー連盟に送られなければならない。参加チームは、表記された期限までに参加選手をエントリーしなければならない。それによりチームは各自予約した部屋数を確保する。

予約した部屋を使用しなかった場合、組織委員会は、そのスキー連盟に対しキャンセル料金を要求する権利をもつ（ただし、クオータの変更で選手数が減った場合は除く）：

- ・ チームキャプテン会議（TCM）の 14 日前まで：チーム及び SRS は予備エントリー（preliminary entry）を適応し予約を変更できる。キャンセル（チーム全体又は一部の部屋のみ）は予約した部屋の 25% は無料とする。
- ・ チームキャプテン会議（TCM）の 13 日前から 8 日前まで：チーム及び SRS は、遅くとも大会 TCM の 8 日前までファイナルエントリーを LOC に提供しなければならない。LOC は 10% の許容をもってキャンセル料金を請求する権利を有する（予約した部屋の 10% はキャンセル料金無料）。

- ・ 大会 7 日前から大会終了（チームが選択した出発日）までの期間：LOC はキャンセル料を請求する権利を有する。キャンセル料の金額は、FIS ホームページの各ベニューのイベントプログラムで公表される必要がある。

該当する国への旅費の支払いがある場合、組織委員会はその負担する旅費から直接キャンセル料を徴収する権利を有する。

組織委員会又はホテルマネージャーは、チームキャプテンの同意なしに、大会日に部屋を明け渡すことを要求することは、認められない。スタートクオータが 4 人以上の国に対し、シングル 2 部屋を提供しなければならない。

クオータ(定数)に含まれない選手・役員について、組織委員会は、食事付き宿泊を、通常の現地価格の最低 25%引き料金、上限ダブルルーム一人につき 125 スイスフラン、シングルルーム一人につき 160 スイスフランで提供しなければならない。

大会プログラムに団体戦が含まれる場合、全ての参加国は選手 4 人までエントリーが認められる。費用払い戻しクオータシステムで選手が 4 人未満のチームに対し、追加クオータ選手（4 人まで）の宿泊及び追加となった 2 枠の旅費は大会の全期間中（週末及びトーナメント）オーガナイザーが支払わなければならない。

注意：チームが選手 1 名プラス性別の異なる役員 2 名（男子 1 名プラス女子 1 名）の場合、LOC はシングル 3 部屋を提供しなければならない。

チームはこの要望を LOC に伝えなければならない。

シーズンの特別な時期のため、ジャンプ週間（ガルミッシュ-パルテンキルヘン）に特別な締め切りが適用される。チームは遅くとも 12 月 20 日までに宿泊の確認をすること。

チームメンバーの最大人数の定義

宿泊に関するスタッフ内訳表

選手	クオータのスタッフ			クオータ 合計	クオータ外の スタッフ	FIS 規定内の クオータ	NSA 代表 /ゲスト	合計
	旅行+ ホテル	ホテル のみ	合計スタッフ		FIS 料金 (ダブル 125CHF, シングル 160CHF)		クオータ外の 支払対象 標準料金 175CHF PP DAY FB	
			(B+C)					(A+D+E+F)
A	B	C	D		E		F	G
6	3	1	4	10	6	16	4	20
5	3	1	4	9	6	15	4	19
4	3	0	3	7	4	11	3	14
3	3	0	3	6	4	10	3	13
2	2	1	3	5	2	7	2	9
1	2	1	3	4	2	6	2	8

6.2.2 旅費

組織委員会は、FIS の地域別旅費規定に従い、スイスフランを基準に 1 人につき以下の最低旅費負担分を支払わなければならない。

1. A グループの組織委員会は、以下の通り支払わなければならない。

- A グループの国のクオータに対し、250 スイスフラン
- B グループの国のクオータに対し、400 スイスフラン
- C グループの国のクオータに対し、400 スイスフラン
- D グループの国のクオータに対し、600 スイスフラン
- E グループの国のクオータに対し、700 スイスフラン

2. B グループの組織委員会は、以下の通り支払わなければならない。

- A グループの国のクオータに対し、400 スイスフラン
- B グループの国のクオータに対し、250 スイスフラン
- C グループの国のクオータに対し、400 スイスフラン
- D グループの国のクオータに対し、600 スイスフラン
- E グループの国のクオータに対し、700 スイスフラン

3. C グループの組織委員会は、以下の通り支払わなければならない。

- A グループの国のクオータに対し、400 スイスフラン
- B グループの国のクオータに対し、400 スイスフラン
- C グループの国のクオータに対し、250 スイスフラン
- D グループの国のクオータに対し、600 スイスフラン
- E グループの国のクオータに対し、700 スイスフラン

4. D グループの組織委員会は、以下の通り支払わなければならない。

- A グループの国のクオータに対し、400 スイスフラン
- B グループの国のクオータに対し、400 スイスフラン
- C グループの国のクオータに対し、400 スイスフラン
- D グループの国のクオータに対し、250 スイスフラン
- E グループの国のクオータに対し、400 スイスフラン

5. E グループの組織委員会は、以下の通り支払わなければならない。

- A グループの国のクオータに対し、400 スイスフラン
- B グループの国のクオータに対し、400 スイスフラン
- C グループの国のクオータに対し、400 スイスフラン
- D グループの国のクオータに対し、400 スイスフラン
- E グループの国のクオータに対し、250 スイスフラン

(ジャンプ週間、ロウエアー等)トーナメントシリーズに関し、旅費はトーナメントの各試合に対しチームに支払わなければならない。

6.2.2.1 FIS 加盟国は、以下の通り 5 つの旅行、組織別地域に分けられる。

第 1 地域 北ヨーロッパ A グループ

(DAN, EST, FIN, ISL, NOR, SWE)

第 2 地域 東ヨーロッパ B グループ

		(BLR, BUL, GEO, LAT, LTU, ROU, RUS, UKR, UZB)
第3地域	中央・南ヨーロッパ	C グループ (AND, AUT, BEL, BIH, CRO, CZE, ESP, FRA, GER, GBR, GRE, HUN, IRE, ITA, LIE, LUX, MON, NED, POL, RSM, SVK, SLO, SUI, TUR)
第4地域	オーバーシー1	D グループ (ALG, CAN, EGY, IRA, ISR, LIB, MAR, MEX, RSA, SEN, SUD, SWZ, USA, ZIM)
第5地域	オーバーシー2	E グループ (ARG, AUS, BRA, CHI, CHN, FIJ, GUA, HON, KAZ, JPN, KOR, PRK, MGL, NZE, PHI, PUR, URU, ISV)

6.2.2.2 単独又は（協定を結んだ）複数の組織委員会は、チャーター便（飛行機、電車、バス、船）を用意し、請求することが出来る。これは、プログラム又は招待状に明記されていなければならない。チームは、公式エントリー最終期限内に組織委員会へ返事をしなければならない。バスでの移動は 400 km に制限する。

6.2.2.3 組織委員会は競技会の公式インビテーションに公式空港を含めることが出来る。各連盟が組織委員会にチームの人数、到着日、到着時間、フライトナンバーを伝える限り、組織委員会はチームごとに少なくとも 1 回の空港への送迎を用意し、負担する。
また、オーガナイザーは宿泊施設及び競技会場間のシャトルサービスを提供し、引き継がなければならない。

6.2.3 指名された TD、アシスタントレースディレクター、アシスタント TD、及び飛行審判は、ICR405.4 条に従って支払われなければならない。

7. FIS WCJ タイトルスポンサー/広告/メディアサービス

7.1 FIS は、公式 FIS ワールドカップタイトル又はプレゼンティングスポンサー又は代理店との間で契約書に署名をする。

7.2 全関係者が厳密に遵守しなければならない全ての広告事項は、FIS と各加盟スキーリーグ／組織委員会との間で結ばれた契約書” FIS ワールドカップオーガナイザー契約 “に明記されている。

7.3 PR インフォメーション、メディアサービス、入賞記者会見等の一般サービスに関し、組織委員会の報道係長（チーフオブプレス）を、FIS が指名する FIS ワールドカップメディアコーディネーターがサポートする。
組織委員会は、コーディネーターの旅費、宿泊、食事を負担しなければならない。事前にコーディネーターは、手配について組織委員会と連絡をとらなければならない。

7.4 国際スキージャーナリスト連盟 (AIPS) 及び FIS の推奨とガイドラインに従つて、プレス/メディアサービスを組織し、かつ実施しなければならない。

8. 救助活動－医療支援要件

主催者は、適切な救助活動を組織し、全競技時間（トレーニング及び競技会）の間稼動する責任を負う。FIS 大会主催者向け医療支援に関する要件は（メディカルルール及びガイドラインを含む）FIS メディカルガイド第 1 章及び ICR221.6 条に記載されている。

9. WCJ レポート

FIS TD は、WCJ 大会の報告に責任がある。TD および TD アシスタントのオンラインレポートは大会後 5 日以内になされなければならない。

10. コントロール

FIS は、大会ごとに最大 3 名の用品コントローラーを指名する。各オーガナイザーは、技術承認を含む滞在期間全体の宿泊費（3 食込み）を支払わなければならない。

11. FIS グランプリスキージャンプ

WCJ ルールがグランプリ大会に適用される。但し、以下を例外とする

11.1 賞金

個人一戦 : **EUR 12,579 CHF 12,000** (上位 6 選手で配分)

団体戦 : **EUR 12,579 CHF 12,000** (上位 3 チームで配分)

混合チーム戦（男女）: **EUR 10,482 CHF 10,000** (上位 3 チームで配分)

（賞金の分配手順は第 5.1 条に従う）

11.2 FIS グランプリトロフィー

グランプリ上位 3 選手には、FIS グランプリトロフィーが与えられる。

このトロフィーは FIS が用意する。FIS グランプリトロフィーを与えるためには最低 3 試合を完了しなければならない。